

中国地方の現況

1 地勢

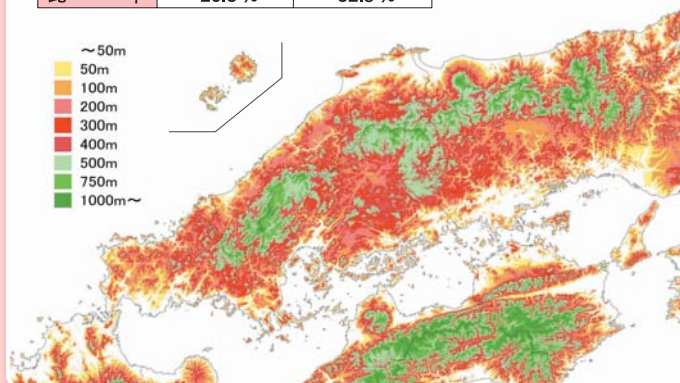
中国山地が中央部を縦貫し、平坦な土地が少ない

中国地方は、東西約350km、南北約150kmと細長く、中央部には中国山地が東西に縦貫しています。山陽は瀬戸内海沿岸から中国山地へ向かって比較的緩やかに大地・高原などを形成しており、山陰は日本海沿岸から中国山地までの距離が短く、比較的急峻な地形となっています。

■標高分布図

	中国地方	全 国
面 積	31,921 km ²	377,947 km ²
可住地面積	8,390 km ²	121,416 km ²
比 率	26.3 %	32.6 %

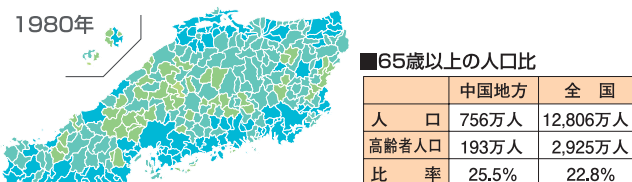
※この画像は、国土地理院刊行の「数値地図50mメッシュ(標高)日本-III」を使用して作成しました。
※資料:総務省統計局「社会生活統計指標-都道府県の指標-2011」



2 人口

進行する中山間地域での高齢化

中国地方の高齢化率(65歳以上)は、25.5%であり、全国の22.8%を約3ポイント上回っています。特に中山間地域や島嶼部等で顕著となっています。



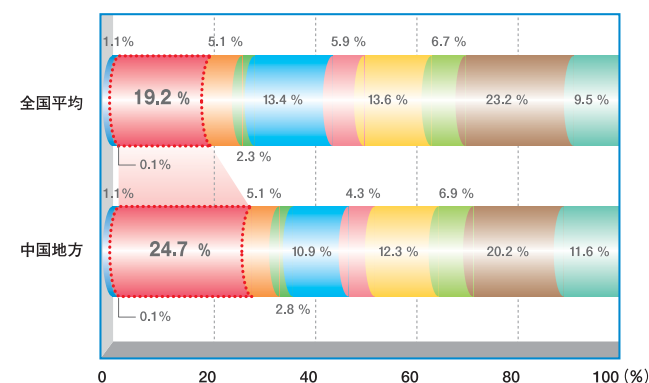
※資料:平成22年国勢調査

3 産業

ものづくりを中心とした産業競争力

中国地方では、沿岸部を中心に古くから基礎素材型工業や加工組み立て工業が発達しています。近年東アジアとの生産連携が拡大する中で、貿易額が飛躍的に増加するなど、自立的な経済圏を形成する高いポテンシャルを有しています。

■総生産に占める主産業の割合



〈凡 例〉
農林水産業 電気・ガス・水道業 運輸・通信業 卸売・小売業 サービス業 製造業 金融・保険業 その他 建設業 不動産業

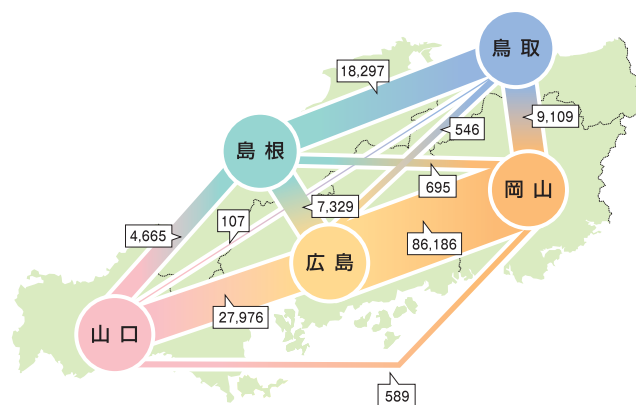
※資料:県民経済計算(H20年度、内閣府経済社会総合研究所)

4 交通

南北方向が弱い地域間の交流

中国地方では道路ネットワークの発達状況から、東西方向の交流は多い状況にあります。その一方で、南北方向の交流は、県境が接しているにもかかわらず、少ない状況にあります。

■旅客流動調査(県間:中国地方)(単位千人)



※資料:国土交通省総合政策局:旅客地域流動調査
※平成21年度分